

\*\*\*\*\*

# LactPren (らくとふれん)

～農業体験・環境教育から学ぶ地域連携～

\*\*\*\*\*

## 第1章 プロジェクトの概要など

### 1. プロジェクトの名称

LactPren とは、「地域の活性化と環境保全」のフランス語訳である、L'activation et la Protection de l'environnement の下線部分(L'act + Pr + en)を用いた造語である。

### 2. 本プロジェクトの目的

#### 【実践的活動を通じた地域連携】

京都市伏見区深草地域および京都市北区小野郷地域を中心に活動し、学生を主体として、地域の人々や諸団体と連携・協力しながら、環境整備活動や農業体験を通して地域貢献を目指す。

近年の学校教育では、学校・家庭・地域の連携が重要視されているが、地域との関わりの希薄さという点において課題は多い。私たちは、将来教師として地域と連携することを想定しながら、地域において農業体験や環境整備活動等の実践的な活動に取り組み、様々な立場の人々との交流を通して、学校と地域との連携について考察する。

小野郷地域においては、米や野菜を育て収穫するという生産の過程を学ぶと同時に、地域の方々と協力して作り育てることの喜びを体感する。深草地域においては、大岩山の環境整備活動を通して地域連携について考察する。

### 3. 代表者および構成員

#### ・代表者

岸田 茉莉 国語領域専攻 3 回生

#### ・構成員

弘田 真基 社会科教育専修 1 回生

松岡 翼 社会領域専攻 4 回生

天羽 敦子	社会領域専攻	3 回生
片淵 裕紀	社会領域専攻	3 回生
山崎 美紅	社会領域専攻	3 回生
山本 龍也	教育学専攻	3 回生
植原 莉子	社会領域専攻	2 回生
釜本 樹	社会領域専攻	2 回生
川島 結衣	教育学専攻	2 回生
高橋 善希	教育学専攻	2 回生
友末 里沙	社会領域専攻	2 回生
弘田 敏基	教育学専攻	2 回生
梅田 ちひろ	社会領域専攻	1 回生
川口 智也	社会領域専攻	1 回生
木本 玲央	社会領域専攻	1 回生
下西 紀輝	社会領域専攻	1 回生
中井 諒	社会領域専攻	1 回生

### 4. 助言教員

武田 一郎 先生	(社会科学科)
石川 誠 先生	(社会科学科)

### 5. その他

#### ・協力団体

NPO 法人 京都北山悠悠自然塾  
 NPO 法人 深草ふれあい隊 竹と緑  
 京都市伏見区深草支所  
 ふかくさ自然環境再生ネットワーク推進委員会

## 第2章 内容や実施経過など

### 1. 活動地域についての概要

#### (1)京都市北区小野郷

小野郷は、京都駅からバスで1時間程度の距離でありながら、山間部を流れる清流や美しく整備された北山杉や季節によって様々な様子を見せる森林などが生い茂る森林、澄んだ空気という魅力的な環境をもつ地域である。小野郷地域と大森地域から構成され、農林業については大森地域で、朝市については小野郷地域で行う。

現在、小野郷は高齢化や若年層の人口流出、それに伴う山野の荒廃や休耕地の増加などの問題を抱えている。平成30年12月1日現在の世

帯数は115、人口は211人(男性98人、女性113人)で、人口はこの20年間でほぼ半減している。京都市立小野郷小・中学校は平成19年より閉校となり、近隣の小・中学生は約11km離れた京都市立高雄小・中学校(右京区)に通っている。

活動にご協力いただいているNPO法人京都・北山悠悠自然塾では、休耕地を活用した農業体験学習や林業体験学習、朝市での物産販売などを行い、世代や地域の枠を超えた交流を図っている。

平成22年度よりLactPrenが「e-Project@kyokyo」に応募し、農業体験を通して地域の活性化や地域の人々との関わりについて考える活動を行ってきた。今年度も小野郷地域で農業体験や林業体験を通じた地域連携に目を向けた活動を行った。

## (2)京都市伏見区深草

本学の東に、大岩山(標高182m)が伏見区と山科区にまたがり位置する。以前から産業廃棄物をはじめとする不法投棄が問題となっていたが、平成20年度に伏見区役所深草支所、NPO、大学生、地域住民等が協力し、廃棄物の回収を行った。

平成21年には、深草の大岩山周辺地域を二度とごみ山に戻さないとの決意から、地域住民や大学等教育機関、NPO法人、農協、関係機関等で「ふかくさ自然環境再生ネットワーク推進委員会」が設立され、深草トレイルの開設や大岩山展望所の設置、継続した一斉清掃や竹林整備等の取り組みを行っており、本プロジェクト所属の学生数名も、学生委員として参加している。

## 2. 活動内容および実施経過

### (1)田植え

日時：平成30年4月29日

参加場所：京都市北区大森

NPOの方々にレクチャーを受け、参加者と学生がペアになり、稲苗の手植えを行った。今年度も、昨年度に引き続き非常に多くの参加者の

方にご参加いただけた。また、今年度も立命館大学の方と合同で行った。そして昼食後には、参加者と一緒に餅つきを行った。その後、子どもたちと清流で生き物探しや水遊び等も行った。



### (2)大岩山の竹林整備

日時：平成30年5月9日

参加場所：大岩山(京都市伏見区)

深草支所や地域住民の方々と連携し、荒廃竹林の整備活動を行った。参拝者や利用者がより心地良く過ごすことができるように、竹林の伐採を行った。



### (3)サツマイモの苗植え

日時：平成30年5月20日

参加場所：京都市北区大森

藤陵祭で販売するサツマイモ(鳴門金時)の苗植えを行った。

堆肥を撒いた後、耕運機を使いながら畝を造り、苗を植え、水を撒いた。



#### (4)夏季合宿研修

日時：平成30年8月29・30日

参加場所：京都市北区小野郷・大森

NPO 協力の下、藤陵祭で販売する野菜の種(大根・白菜・かぶら)を植えるとともに、地域交流を深めた。昨年度と同様に、現在休校となっている京都市立小野郷小中学校に宿泊した。

休耕地に堆肥を撒き、耕運機で耕し、畝を作り、種を播き、マルチシートを被せる一連の作業を NPO の方々に指導していただきながら、学生が主体的に行った。また、夏野菜の収穫も体験した。



#### (5)間引き、稲刈り

日時：平成30年9月16日

参加場所：京都市北区大森

夏合宿で種を蒔いた、野菜の芽の間引きを行った。また、天候不順の影響で「北山悠悠塾」としての稲刈りを行うことができなかつたため、間引きと併せて稲刈りを行った。鎌を用いた手刈りとコンバインの操作を行った。



#### (6)芋掘り

日時：平成30年10月21日

参加場所：京都市北区大森

5月に植えたサツマイモを収穫した。収穫したサツマイモは天日に晒し、11月に藤陵祭で販売する。なお、サツマイモは天日に晒すことで甘みが増す。



#### (7)野菜の収穫

日時：平成30年11月14日

参加場所：京都市北区大森

夏季研修合宿で種を播いた野菜を収穫した。大根とかぶらは、左下写真の洗浄機を用いて、川からホースで引いた水を使って洗浄した。



#### (8)藤陵祭

日時：平成30年11月16・17・18日

参加場所：本学

小野郷で栽培した野菜とそれらを使った大根煮、スイートポテトを販売するとともに、パンフレットやパワーポイントで小野郷や深草での活動のPRを行った。

新たな取り組みとして、今年度はNPOの方の「そのままの味を味わってほしい。」という想いのもと、一緒に相談をしてサツマイモを石焼き芋として販売した。藤陵祭に来てくださった方々に、サツマイモの自然な甘さを味わっていただくことができた。

また、SDGsの17の目標のうち、「2. 飢餓をゼロに」「15. 陸の豊かも守ろう」の2つに焦点を当てたスタンプラリーに参加した。本大学の学生だけでなく、地域の子供たちにも参加していただき、より多くの人たちに活動を知っていただくことができた。



### (9)年末餅つき

日時：平成 30 年 12 月 22 日

参加場所：京都市北区小野郷

小野郷の地域で毎年恒例の年末の餅つきを行った。この餅つきでお鏡餅を作る。もち米を水に浸し、蒸して、ついて、最後に丸めるという一連の流れを全員で協力することができた。左下の写真は甘納豆餅である。小野郷地域で昔から食べられているお餅である。



### (10)高雄小学校餅つきのお手伝い

日時：平成 31 年 1 月 13 日

参加場所：京都市北区高雄小学校

毎年京都市立高雄小学校で行われる「餅つき大会」を子どもたちや PTA の方、「北山悠悠塾」の方と一緒にいった。



## 第 3 章 結果や成果など

### 1. 京都市北区小野郷での活動について

昨年度に引き続き、田植え、サツマイモの苗植え、夏季合宿研修、間引き、稲刈り、野菜の収穫、と農業の体験を中心に活動を行った。耕運機やトラクター、チェーンソー等を使用する機会は、普段の生活では得難いものである。社会科では、産業についての学習で、農業や林業を扱う。卒業後には、教科書の知識を教えるだけでなく、本プロジェクトで得た体験を授業に取り入れ、児童生徒の豊かな学びにつなげたい。

また、年末の餅つきや高雄小学校での餅つきのお手伝いでは、地域の方々のつながりや、学校と地域とのつながりを感じることができた。子どもたちは、地域で育てていくという認識を実感することができた。

藤陵祭では、毎年開催を楽しみに来て下さる方々が年々増え、NPO と我々の活動が少しずつ知られていることを実感することができた。小野郷で農林業を経験しながら、地域の人々と連携し、地域の在り方を考える時間は、メンバーにとってかけがいのない、大変価値のあるものであった。

さらに、LactPren が結成されてから、現メンバーも含めて 60 人以上が本取り組みに取り組んできた。卒業生の方から、学校現場のお話を聞く機会もあり、縦のつながりを感じることができた。

### 2. 京都市伏見区深草での活動について

大岩山では、深草支所と連携しながら、荒廃した竹林の伐採を行い、参道の環境整備を行った。整備前に比べ、参道に日光が多く差し込み、参拝者や観光客が心地良く利用できるようになったのではないと思う。近年の観光客の増加に伴い、伏見稲荷大社から足を延ばし、深草トレイルを利用される方も増加している。本プロジェクトでの活動を通して、大岩山の地域資源としての価値を高めるとともに、地域の望ましい在り方について考えさせられる機会となった。

## 第 4 章 まとめと反省、今後の展望など

藤陵祭を通して、地域の方々と関わる中で、本

研究の取り組みに対する認知度が向上していることを実感することができた。また、今年度も前期の活動において立命館大学と小野郷での活動に共同で参加することができた。来年度以降も継続し、活動を充実させることができればと思う。

今年度は、篠原祭でSDGs（持続可能な開発目標）の17の目標のうち「2. 飢餓をゼロに」「15. 陸の豊かさも守ろう」の2つに焦点を当てたスタンプラリーに参加した。しかし、この取り組み以外大学のSDGsの取り組みに参加することができなかったため、来年度は様々な取り組みに参加できるように検討していきたい。

また、昨年度から取り組みを休止した【学校における食教育の考察】については今後、活動目的や内容も含めて検討していきたい。

来年度以降も、これまでの実践的な活動を継続・発展させることに尽力したい。また、公立学校等をはじめ、地域連携の在り方についての考察をさらに深め、より活動を広く周知してもらえるような試みを行いたい。

### <参考・引用文献>

前年度までの活動については、本学HPを参照。

・LactPren 公式 Twitter @LactPren

・NPO 法人 京都北山悠悠自然塾 HP

<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/satomi-f/index.html>

・NPO 法人 深草ふれあい隊 竹と緑 FB

<https://www.facebook.com/taketomidori/>

・市民農園風緑

<http://www.kyoto-kazamidori.com/index.php>

・京都市統計ポータル 住民基本台帳、町別人口

<https://www2.city.kyoto.lg.jp/sogo/toukei/Population/#chobetu>

・京都市北区役所 HP 「わたしの町北区 小野郷学区だより」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kita/page/0000056123.html>

・京都市北区基本計画「自然と調和した住み良い北山三学区の創造」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kita/page/0000093718.html>

・京都市伏見区深草支所 HP

<http://www.city.kyoto.lg.jp/fushimi/category/150-2-2-0-0-0-0-0-0-0.html>

・京都市立小野郷小中学校 HP

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/onogo-s/>

・北山三村 小野郷 HP

<http://kitayama3.jp/onogo/>

・AQUADINA 京都観光のガイド情報サイト HP  
[aquadina.com/kyoto/](http://aquadina.com/kyoto/)

(最終閲覧：平成31年1月22日)

